

「本音」と「ネットワーク」

校長 町田 常雄

保護者の皆様、いよいよお子様が二川中学校に入学する日が間近になって参りました。これまでのお子様の健やかなご成長を心よりお喜び申し上げます。

初めて中学校にお子様を入学させる保護者の方も多くいらっしゃると思います。不安や戸惑いもあるかと思いますが、学校と保護者と連携をとってお子様の成長を図っていきたいと思っております。

中学校は、小学校と違います。制服、教科担任制、小学校とは異なる教科、部活動等々。小学校以上に多くの教職員が生徒一人ひとりと関わります。

部活動が始まると朝から夕方まで学校にいる時間が多くなります。土曜、日曜も部活動で家にいないということもおきてきます。今まで家族と過ごしていた時間が、友達と過ごす時間になります。家族との触れ合い、親子の会話等随分少なくなるのではないのでしょうか。

大事なものは子どもの声に耳を傾ける姿勢です。アドバイスの前に「**本音**」を聴けるかどうかです。

子どもの成長が一人ひとり違います。身体の成長、心の成長のアンバランスからくる不安定な気持ち。反抗期。大人社会へのあこがれ。時にはいけないことに手を出すこともあるかもしれません。色々なものに興味を持ちます。

子どもも一人で成長するわけではありません。いろいろな人、例えば同級生、先輩、後輩、先生、保護者、地域の人、そこでの関わりの中でいろいろなことを学習していきます。だからこそ、ご家庭での子どもの小さな変化を見逃さずに声かけをしてほしいものです。身体は大きくなっても最終的に**子どもが頼りにするのは親であり、家族**です。また、自分の子どもだけでなく、他の子どもの様子もよく見てほしいものです。保護者の皆様の「**親のネットワーク**」を活用し、横の連携をとることが親としての心の安定にもなります。そのチャンスは「授業参観・保護者会」の日です。

この3年間を「中学生だからできる・中学生にしかできない」時期と考え、「主体的に学習・生活に取り組み、互いに高めあえる二川中生」育成をしていきたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。